

保護林管理方針書(案)

名 称	いのほえ せいぶつぐんしゆほごりん かしょう あん 猪八重生物群集保護林(仮称案)	管理(支)署	宮崎南部森林管理署
面 積 (ha)		設定年月日	平成29年 月 日
		変更年月日	
位置及び区域 (森林生態系保護地域及び生物群集保護林においては保存地区、保全利用地区それぞれの位置及び区域)	広渡川森林計画区 宮崎県 日南市 北郷町 大荷田国有林 林班 小班外 海一郷国有林 林班 小班外		
保護・管理を図るべき森林生態系、個体群に関する事項	原生的な天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究などに役立てるとともに、これらの森林を後世に引き継ぐことにする。		
保護・管理及び利用に関する事項	祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域は、大分県南部の竹田市、豊後大野市、佐伯市、宮崎県北部の延岡市、日之影町、高千穂町にまたがり、大野川、北川、祝子川、五ヶ瀬川の上流域に位置している。地形は急峻で祖母山(標高1,757m)、傾山(1,602m)、大崩山(1,643m)を中心とした山系で、地質は地質学的に臼杵～八代構造線上にあり、砂岩、粘板岩、チャート等を基岩とした古生層からなっている。林相は、標高1,000m以上の山地帯には太平洋岸気候の冷温帯湿潤気候の極相であるブナ林がみられ、標高700～1,000m付近にはアカガシ、ウラジロガシ等の常緑広葉樹林がみられる。本地域には、特別天然記念物のニホンカモシカ、河川には、陸封された天然記念物のイワメやアマゴも見られる。 保存地区 (1,579.70ha)・・・禁 伐 原則として人手を加えずに、自然の推移にゆだねる。 保全利用地区(4,398.09ha)・・・木材生産を目的とする森林施業は行わない。ただし、人工林については複層林施業を行い将来は天然林へ移行を図るよう取り扱う。		
モニタリングの実施間隔及び留意事項	5年		
法令等に基づく指定概況	保安林(水源涵養・保健・土砂流出防備)、祖母傾国定公園(特保・特1・特2・特3)、祖母傾県立自然公園(普通)、史跡名勝天然記念物、鳥獣保護区(特別保護・普通)		
その他留意事項	旧竹田 … 神原祖母山 4と外 2,321.00ha・・・旧祖母山学参 旧高千穂… 木戸ノ元 21と外 1,363.50ha・・・旧祝子川学参 旧延岡 … 夏木 6ち外 2,293.29ha・・・旧祖母山学参 計 5,977.79ha	特 徴 植物・・・アカガシ、ツバキ等の常緑広葉樹からツガ、モミ、ブナ、ヒメコマツの垂直分布 動物・・・ニホンカモシカ、ヤマネ、ニホンザル、モモンガ等の哺乳類、ホシガラス、コマドリ、アカショウビン等の鳥類等	
	祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域計画:平成2年4月1日設定(平成2年3月28日林野庁承認) 「保護林制度の改正について」(平成27年9月28日付け27林国経第49号)に伴い平成30年4月1日再編(旧祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域)		